



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年11月13日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 矢内 廣
問合せ先責任者 （役職名） 専務取締役コーポレート担当 （氏名） 吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 ：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	26,252	23.9	2,994	143.8	3,076	184.8	1,961	199.5
2025年3月期中間期	21,189	7.7	1,228	25.2	1,080	13.9	654	△26.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,948百万円 （204.5%） 2025年3月期中間期 640百万円 （△28.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	128.01	—
2025年3月期中間期	42.84	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	114,280	9,265	8.1
2025年3月期	102,150	7,239	7.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 9,264百万円 2025年3月期 7,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	10.2	4,200	59.3	4,200	76.6	2,700	69.7	176.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) ぴあライブクリエイティブ株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、決算短信(添付資料)9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	15,656,713株	2025年3月期	15,656,713株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	320,677株	2025年3月期	343,336株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	15,321,169株	2025年3月期中間期	15,287,218株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託(BBT及びBBT-RS)が保有する当社株式は、1株当たり中間純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による世界経済への影響や、物価の高騰等により個人消費の持ち直しに鈍さがみられたものの、雇用・所得環境の改善や企業業績の回復を背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。その中であって、当社が事業基盤とする国内レジャー・集客エンタテインメント市場は、ライブ・イベント開催の活発な動きが継続し、大阪・関西万博や東京2025世界陸上の開催、大規模会場・大型興行の増加等により、コロナ禍前を大幅に上回る規模で極めて好況に推移しております。

こうした経営環境下、中期経営計画(2023～2025年度)の最終年度となる当中間連結会計期間における当社グループの連結業績は、大阪・関西万博の成功に伴う周辺事業の拡大、当社主催・企画・運営イベントの増加に加え、来日アーティストや人気グループの大規模公演、夏フェス、プロスポーツ、ミュージカル、レジャー等のチケット販売が好調に推移した結果、取扱高ベースでの売上は1,570億円を超える過去最高の水準となりました。また、昨年10月からのチケットびあサービス利用料の一部改訂によるコスト構造の改善もあり、約7%の給与アップを含めた人的資本投資、新規事業への開発投資、次世代に向けたシステム改修等の各種投資コストを吸収する形で、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のすべてにおいて前期実績、ならびに期初想定数値を大幅に上回って順調に推移しました。

以上の結果、当社グループの当中間連結会計期間の連結業績は、売上高262億52百万円(対前年同期比123.9%)、営業利益29億94百万円(対前年同期比243.8%)、経常利益30億76百万円(対前年同期比284.8%)、親会社株主に帰属する中間純利益19億61百万円(対前年同期比299.5%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント(主催事業含む)>

- ・大阪・関西万博
- ・プロ野球公式戦／サッカーJリーグ／大相撲
- ・神宮外苑花火大会
- ・東京2025世界陸上
- ・びあフェス(PIA MUSIC COMPLEX)
- ・ONE OK ROCK／Mrs. GREEN APPLE／Vaundy
- ・UVERworld／福山雅治
- ・LADY GAGA／Travis Scott／Billie Eilish
- ・Stray Kids／NiziU／ATEEZ
- ・ROCK IN JAPAN FESTIVAL／Animelo Summer Live 2025／WILD BUNCH FEST.
- ・ミュージカル「レ・ミゼラブル」ワールドツアースペクタキュラー
- ・初音ミク「マジカルミライ」
- ・劇団☆新感線
- ・おかあさんといっしょスペシャルステージ

<メディア商品>

- ・「大阪・関西万博びあ(第一弾)」
- ・「大阪・関西万博びあ(完全攻略編)」
- ・「大阪・関西万博写真集」
- ・大谷翔平語録「不可能を可能にする大谷翔平120の思考」
- ・「森のカフェと緑のレストラン」シリーズ
- ・「HYDE写真集」

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、1,142億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して121億30百万円増加いたしました。流動資産は917億55百万円(前連結会計年度末比120億92百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同142億95百万円)であります。固定資産は225億25百万円(前連結会計年度末比37百万円増)となりました。変動の主なものは、有形固定資産の減少(同3億77百万円)、無形固定資産の増加(同4億32百万円)によるものであります。

負債は、1,050億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して101億4百万円増加いたしました。流動負債は869億36百万円(前連結会計年度末比106億71百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同64億94百万円)であります。固定負債は180億78百万円(前連結会計年度末比5億67百万円減)となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少(同5億12百万円)であります。

純資産は、92億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億26百万円増加いたしました。これは、主に親

会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が19億61百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して142億95百万円増加し、当中間連結会計期間末は605億97百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは164億50百万円の収入(前年同中間期は139億19百万円の収入)となりました。この主要因は、売上の漸次増による仕入債務の増加が64億94百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは16億44百万円の支出(前年同中間期は9億87百万円の支出)となりました。この主要因は、有形固定資産の取得による支出が1億43百万円、無形固定資産の取得による支出が15億50百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは5億10百万円の支出(前年同中間期は5億10百万円の支出)となりました。この主要因は、長期借入金の返済による支出が5億7百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を修正しています。詳細については、本日(2025年11月13日)公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,301	60,597
売掛金	27,774	23,848
棚卸資産	119	67
その他	5,496	7,269
貸倒引当金	△28	△27
流動資産合計	79,662	91,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,317	10,008
工具、器具及び備品(純額)	534	509
土地	724	724
その他(純額)	57	13
有形固定資産合計	11,634	11,256
無形固定資産		
ソフトウェア	4,601	4,071
ソフトウェア仮勘定	1,311	2,167
その他	38	145
無形固定資産合計	5,951	6,383
投資その他の資産		
投資有価証券	1,125	1,196
その他	4,156	4,126
貸倒引当金	△380	△438
投資その他の資産合計	4,901	4,884
固定資産合計	22,487	22,525
資産合計	102,150	114,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,204	66,698
1年内返済予定の長期借入金	1,018	1,023
未払金	5,156	3,524
未払法人税等	421	1,247
賞与引当金	581	497
その他	8,883	13,944
流動負債合計	76,265	86,936
固定負債		
長期借入金	16,601	16,088
株式給付引当金	358	289
退職給付に係る負債	88	87
資産除去債務	1,320	1,338
その他	276	274
固定負債合計	18,645	18,078
負債合計	94,910	105,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,468	6,468
資本剰余金	2,634	2,634
利益剰余金	△874	1,086
自己株式	△987	△910
株主資本合計	7,240	9,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	9
為替換算調整勘定	△21	△29
退職給付に係る調整累計額	11	5
その他の包括利益累計額合計	△5	△15
非支配株主持分	3	1
純資産合計	7,239	9,265
負債純資産合計	102,150	114,280

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	21,189	26,252
売上原価	13,581	14,951
売上総利益	7,608	11,300
販売費及び一般管理費	6,379	8,306
営業利益	1,228	2,994
営業外収益		
受取利息	1	19
受取配当金	8	7
持分法による投資利益	46	74
諸債務整理益	9	142
助成金収入	59	58
その他	9	0
営業外収益合計	135	302
営業外費用		
支払利息	126	166
支払補償費	144	41
その他	12	11
営業外費用合計	283	219
経常利益	1,080	3,076
特別損失		
投資有価証券評価損	336	—
特別損失合計	336	—
税金等調整前中間純利益	744	3,076
法人税等	89	1,117
中間純利益	654	1,958
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	—	△2
親会社株主に帰属する中間純利益	654	1,961

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	654	1,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	4
退職給付に係る調整額	△1	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△8
その他の包括利益合計	△14	△9
中間包括利益	640	1,948
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	640	1,951
非支配株主に係る中間包括利益	—	△2

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	744	3,076
減価償却費	1,321	1,234
賞与引当金の増減額(△は減少)	△218	△83
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	56
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8	△1
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△79	△68
受取利息及び受取配当金	△10	△27
支払利息	126	166
助成金収入	△59	△58
支払補償費	144	41
持分法による投資損益(△は益)	△46	△74
投資有価証券評価損益(△は益)	336	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,934	3,925
棚卸資産の増減額(△は増加)	28	51
未収入金の増減額(△は増加)	△1,203	902
仕入債務の増減額(△は減少)	7,055	6,494
未払金の増減額(△は減少)	34	△1,230
前受金の増減額(△は減少)	3,815	4,348
前渡金の増減額(△は増加)	△155	△514
立替金の増減額(△は増加)	△831	△719
その他	△667	△626
小計	14,258	16,893
利息及び配当金の受取額	11	27
利息の支払額	△137	△166
助成金の受取額	6	58
補償費の支払額	△144	△46
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△75	△315
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,919	16,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99	△143
無形固定資産の取得による支出	△880	△1,550
長期前払費用の取得による支出	△14	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	44
その他	6	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△987	△1,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△507	△507
その他	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510	△510
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,421	14,295
現金及び現金同等物の期首残高	33,919	46,301
現金及び現金同等物の中間期末残高	46,340	60,597

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、「レジャー・エンタテインメント関連事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、「レジャー・エンタテインメント関連事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。